自立活動だより

自立活動部
R2年5月
第1号

今年度より新設された、自立活動部より、「自立活動だより」を発行することとなりました。日々の授業や児童生徒との関わりにおいて、役に立つ内容となるよう取り組んでいきます。
今回は、昨年度末に導入した、『スパイダー（重力軽減環境訓練システム）』について紹介します。（校内ブログにてHPに掲載しております。）

スパイダー（重力軽減環境訓練システム）とは？

・大きな支柱から強力なゴムを張り、身体を縦方向にして様々な運動刺激を加え、空間認知の感覚を養ったり、全身の協調運動を高めたりすることができます。
・身体の弱い部分をサポートしながら筋肉や関節内にある固有受容器やバランス能力に必要な前庭系・視覚系からの情報を容易に統合することができます。これにより空間における身体の位置を知覚することが可能になります。また、動き方を試行錯誤することで運動の多様性や、より効率的な運動を選択していく過程を自己学習できます。
・スパイダーを用いることで、脳性麻痺の子どもたちが呈する姿勢や筋緊張の亢進の要因である重力を軽減し、運動コントロールの学習につながります。

名前の由来

・身体から外に向かって張られたゴム紐が蜘蛛の巣のように見えることから名付けられました。

構造

①身体に装着する留め具付きベルト
②弾力性の異なるゴム紐
③①と②を固定するための支柱もしくは枠

期待できる効果

・発達の欠如や遅れを改善する
・筋力の低下を改善する
・感覚間統合を改善する
・バランスや協調性を改善する
・自動運動を促進する
・骨粗鬆症の予防、改善をする
・安定性を改善する
・筋肉の萎縮を防ぐ

最後に

・スパイダーを使って姿勢を保持し、玩具操作をしたり、様々な運動姿勢をとったりすることで、子どもの興味関心に合わせた活動を行うことができ、楽しく取り組むことができます。教師の発想や工夫により効果的な使い方が期待できます。
・実際に、本校児童生徒の指導に取り入れていくにあたっては、学院リハビリテーション部の先生方にも、効果や配慮事項について助言等頂きながら進めていく予定です。

★参考：テキスト「スパイダー・マニュアル(2016.11. 30 Ver2)」
論文「第3回 障害をもった子どもにとっての重力」高塩 純一

・スパイダーについての解説書や、ベルトの装着方法のＤＶＤがありますので、ご覧になりたい方は自立活動部までお声がけください。
・スパイダーについての相談や、「是非使ってみたい！」という方は自立活動部（藤岡、斎藤）までお声がけください。有効的な使い方について、実際に使いながら一緒に考えましょう！